

杉並区から台湾に義援金・見舞金を届けました

4月3日に台湾東部沖を震源とする震度6強の地震が発生し、多くの建物が倒壊しました。その後も震度5以上の地震が複数回発生しています。台湾の方々が、一日でも早く元の暮らしを取り戻せるように願いを込めて、杉並区から義援金と見舞金を届けました。

杉並区は、中学生の親善野球大会や東京高円寺阿波おどり台湾公演などを通じて台湾との交流を深めてきました。地震直後の4月5日から義援金を募り、25日、区民等から寄せられた義援金1,198,040円(外貨含む)を、区の文化・交流課長から台北駐日経済文化代表処の林政務部次長(写真右)に手渡しました。代表処からは「日ごろから交流している杉並区の皆様から義援金をいただき、深く感謝しています。」とのコメントをいただきました。



また、4月15日には台湾東部沖地震に対する見舞金として、岸本聡子区長及び井口かづ子議長が同代表処を訪問し、杉並区から30万円、杉並区議会議員有志から21万円の計51万円を周副代表に手渡しました。



杉並区では、今年10月に台湾及び福島県南相馬市との野球交流を、11月にまるごと台湾フェアを実施する予定です。今後も台湾に寄り添いながら、交流事業を継続・発展させていきます。

【問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課 電話 03-3312-2111 内線 3772
総務部広報課 電話 03-3312-2111 内線 1502